

浜松湖西豊橋道路等の都市計画の素案に関する説明会

1 とき 令和7年11月16日(日) 午後1時30分から午後3時15分まで

2 ところ 二川小学校 体育館

3 来場者 304名

4 出席者 豊橋市 都市計画部 都市計画課

 豊橋市 建設部 道路建設課

 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課

 愛知県 建設局 道路建設課

 愛知県 東三河建設事務所 道路整備課

 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 計画課

5 内容

1)挨拶

2)浜松湖西豊橋道路等における都市計画素案の説明について

3)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
予算は確保されているか。	現在は、都市計画手続の段階であり、予算は事業実施段階で確保することになります。
トンネル構造による景観、自然、生活への影響に関して検討されているか。	トンネル構造としない場合、山を切り開くことになり、自然環境等への影響が懸念されることから、トンネル構造で計画しています。また、既存の文献や地質調査資料、現地調査によりトンネル区間周辺は、安定した地盤であると考えています。今後事業実施段階において、詳細な地質調査を実施し、具体的な検討をしていきます。

豊橋 IC(仮称)ができることで岩屋下交差点の更なる渋滞が懸念される。渋滞対策は何か検討されているか。	長距離を移動する大型車両と地域交通が分離され、本道路によって交通の転換が図られると考えています。豊橋 IC(仮称)周辺の渋滞対策は、動植物園西入口交差点および梅田橋西交差点は適切な構造に改良するよう計画しています。また、豊橋市では県境付近の渋滞解消に向か、湖西市と渋滞対策を検討するとともに、今年度から自治会などと二川地域渋滞対策検討委員会を立ち上げ、地域の皆さまと一緒に、岩屋下交差点を始めとした渋滞対策について考えています。
本計画案は「浜松湖西豊橋道路を考える会」による意見が反映されていると感じる。事業完了予定年度を教えてほしい。	現在は、都市計画手続の段階であり、完了予定時期は未定です。今後事業実施段階でお示します。
火打坂の渋滞についても併せて対策を検討されたい。例えば、今後新しい道路を整備するとなった場合、今回のトンネルと新たなトンネルを交差することは可能か。	一般的に、トンネルを上下で交差するには、構造を安定させるために相応の離隔が必要となるなど課題があります。地下鉄などトンネル構造で交差している事例はあります。
トンネル内の雨水排水計画を教えてほしい。	トンネル内に流れ込む雨水については、トンネル外の道路へ降った雨が道路の傾きに応じて流れる分となるため、これらの水量を計算した上で、河川管理者等と調整し、流出先を決めるなど、様々な対策を検討するものとなります。詳細は、今後事業実施段階で、関係機関と協議して検討していきます。
トンネル構造の計画は大変良いと感じた。自動運転・給電等の先端技術を活用してほしい。	自動運転技術や給電は実験段階であり、道路インフラへの適用方法が確立されていないため、現段階では計画に定めることは難しいと考えていますが、今後事業実施段階において、これらの技術が確立された場合に、適用の方向性について検討することになります。

複数ルート案があったが、なぜこのルートに決定したかを教えてほしい。	平成30年から令和3年までに計画段階評価を実施しており、本西側ルート帯案や23号拡幅ルート帯案を含む3案から最も優れる西側ルート帯案を選定しています。本西側ルート帯案が評価される点は「高速道路 IC(インターチェンジ)までの移動時間の短縮」、「防災拠点までの移動時間の短縮」、「地域間交流の移動距離の短縮」、「市街地走行の安全確保」の4つです。また、本西側ルート帯案は、リダンダントシード(冗長性)の効果が期待され、防災の観点から優れています。
湖西市側の IC(インターチェンジ)はどのあたりに設置されるのか。	株式会社デンソー湖西製作所とトヨタバッテリー株式会社の北側に位置する計画で、県道太田中原線を豊橋市から湖西市へ向かっていく先あたりになります。
今後更なる大型の車両が通行することを鑑みて、車線の計画幅員 3.5 メートルを拡張できないか。	本計画路線の道路規格は第1種第3級であるため、道路構造令という基準により、幅員を 3.5 メートルとしています。
本計画に関する各地域との意見交換会が開かれる予定か。住民の意見を聴いてもらえていない。	今後、公聴会および都市計画の案や環境影響評価準備書の縦覧に伴う説明会を実施し、ご意見を伺う場を設けていきます。
使用している井戸付近に計画ルートが通る。本計画に反対だが、計画の中止はあるのか。	これまで地域の方々からいただいた様々なご意見を可能な限り配慮して計画していますので、本案で進めていきたいと考えています。できるだけ多くの皆さまが便利だと思っていただける道路となるように、今後もご意見を伺いながら進めています。

トンネル区間が大脇町の集落を通過する。トンネル直上の家屋は移転の可能性があるのか。	トンネルの坑口(出入口)周辺は、用地のご協力をお願いすることになると考えています。一方で地表から一定の深さ以下の地下を通過する区間は、区分地上権を設定するため移転等の必要はありません。詳細な設定の範囲は事業実施段階で検討していきます。
大崎北JCT(仮称)が位置している場所は浸水区域となっているが問題ないのか。	大崎北 JCT(仮称)周辺は盛土構造とし、浸水想定高より高い位置に計画しています。
一問一答では本当に聴きたいことが言えないで、市のホームページなどで意見を出せるようにしてほしい。また、意見を反映しているというが、出した意見に対してどのように対応したかわからない。出した意見の内容と結果を公表してほしい。	公聴会などでご意見を伺う場を設けていきます。また、令和6年度に開催した愛知県の都市計画の基本方針(案)の説明会でいただいた意見と回答要旨は、愛知県都市計画課のホームページに掲載しています。また、本日の説明会の質疑応答要旨は豊橋市都市計画課のホームページに掲載する予定です。
トンネル区間の幅員を教えてほしい。2本のトンネルの間隔も含めた幅はどれくらいか。	トンネル区間は片側2車線となり、それぞれ 9.5 メートルの道路幅員で計画しています。トンネルの全断面の必要幅は、今後地質調査を実施し、詳細について検討していきます。

(説明会配布資料)

- ・浜松湖西豊橋道路(愛知県区間) 都市計画のあらまし